

公表

## 事業所における自己評価統括表 【児童発達支援】

○事業所名	児童発達支援センター にじのはし			
○保護者評価実施期間	令和5年4月1日		令和6年3月31日	
○保護者評価有効回答数	対象者数	42家庭	回答者数	34家庭
			回収率	81%
○従業者評価実施期間	令和5年4月1日		令和6年3月31日	
○従業者評価有効回答数	対象者数	12名	回答者数	12名
			回収率	100%
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年3月31日			

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・療育内容の共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その日の活動内容は5領域に当てはめた療育内容を連絡ノートで共有し、送迎時やお迎え時の伝達でも、その日行ったことを共有できるように努めている。</li> <li>・ブログやおたより等でも行事や活動の内容を発信している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1日1日、子どもたちが充実して過ごせるよう、プログラムの設定を行い、保護者様に細やかにお知らせできるよう努めていく。</li> <li>・外部に向けては、にじのはしの強みやカラーが分かるようパンフレットの配布などを検討していく。</li> </ul>
2	・相談事に対する、迅速な対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡ノートや、直接いただいた相談事やお問合せについては速やかに状況確認を行い、ご報告をさせていただいている。</li> <li>・施設見学（ZOOMの活用）をしていただくことで、どのように過ごしているのかが分かり、相談事に対する助言等も同時に行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々のコミュニケーションを大切にし、連携がとりやすい体制を常に作っていく。</li> <li>・定期的に見学にお越しいただくことで、一人ひとりの成長や課題等を一緒に整理出来るよう努めたい。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている 課題の要因等	改善に向けて必要な取組や 工夫が必要な点等
1	・保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域で他のこどもも活動する機会の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・系列のこども園との交流(行事参加)はあるが、交流の機会は少ないように思える(田植え・稲刈り・しいたけ狩りなどは共に体験している)</li> <li>・夏まつり開催時、地域の方々も参加していただけるよう準備をしているが、交流までは至っていないのが現状である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まずは、系列保育園との交流の機会を増やしていけないかを検討していく。</li> <li>・地域の方々との交流の機会については今後、要検討事項。</li> </ul>
2	・各種マニュアル等の再周知	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種マニュアルは完備されているが、保護者様向けに周知できているかどうかは不足しているように思える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種マニュアル等の周知方法について検討し、緊急時でも迅速に対応できるよう整備していく(HPでの公表等を検討)</li> </ul>
3	・保護者向けの研修開催と、きょうだい児の支援や交流機会の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茶話会の開催を行っているが、研修までは行っていない。きょうだい児も参加できる行事を行っているが、交流機会を確保できているかまでは正直不足しているように思える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアレントトレーニングを含めた専門的な知識をより深め、茶話会などで研修を開催できるよう努めていく。きょうだい児の交流については今後、要検討事項。</li> </ul>